棒ノ嶺

メンバー　八木、古屋、鈴木（忠）、二宮、鈴木（博）、加藤

２０１７年５月２７日（土）　曇
ＪＲ川井駅前バス停９：３４（西東京バス）清東橋（せいとうばし）バス停９：５０
登山開始１０：００　棒ノ嶺１１：４５－１２：１０　黒山１２：４０　岩茸石山１４：２０
御岳駅１６：２０　河辺駅１７：３０～１８：３０
雲稜祭会場（東青梅・勝沼２丁目自治会館）１８：４０

　ＪＲ川井駅から３分程行った国道沿いにあるバス停に本日の参加者６名が集合する。大勢の登山者がバス待ちをしている。ほぼ定刻通りバスは全員を乗せ出発。夏季の間のみ運行の清東橋まで行き下車。ここで登山準備をする。

（夏季のみ運行の清東橋バス停）

（バス停の広場）

しばらく道路を行き、登山道に入る。

（いよいよ、出発です）

（道路より登山道に入る）

板橋を渡り、しばらく行くとワサビ畑が出てくる。沢沿いにワサビ畑が続いている。

（板橋を渡る）

（ワサビ畑がしばらく続く）

ワサビ畑が終わると、いよいよ杉林の急登だ。うんざりするほど連続する急登だ。

（こんな調子で急登が続く）

（ガスの中だが、明るい）

急登の連続を喘ぎながら登りようやく棒ノ嶺の広い頂上に到着。
しかし残念ながら一面のガスで視界はない。
埼玉県側（名栗湖側）からの登山者が多い様で、頂上はたくさんの登山者だ。

（棒ノ嶺頂上で記念撮影）

（視界はありません）

棒ノ嶺より黒山へ向かう。

（埼玉県側の名栗湖方面への分岐）

（黒山に到着）

黒山より高水三山（岩茸石山）方向へ向かう。
結構アップダウンが多くて、疲れが一段と増す。

（ヤシオツツジがホッさせてくれる）

（結構、アップダウンが多いです）

高水三山（岩茸石山）に到着です。
ここから（岩茸石山）これまでの苦労へのご褒美のような歩き易い道をしばらく行く。
が、惣岳山への最後の登りが堪える。疲れがぶり返してくる。

（岩茸石山に到着です）

（惣岳山頂上の清渭（あおい）神社）

惣岳山から杉林の中の急な下りで濡れた滑りやすい道をしばらく行き、御岳駅に到着。
御岳駅から河辺駅まで行き、河辺温泉にて汗を流した後、雲稜前夜祭会場へとタクシーで向かった。

５月２８日（日）晴

（雲稜祭）